

# METER

スクエアLCD  
パワーテストスピードメーター  
SQLS1

## メーター本体取扱説明書

本書はメーター本体に関する説明書です。  
主に各機能の操作方法、取り扱い注意事項、配線図  
等を記載しております。

**Produced by SPECIAL PARTS TAKEGAWA**

このたびは、TAKEGAWA商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。



**注意**  
この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法的速度を守り違法運転を心掛けて下さい。  
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)



- 警告**  
この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
  - ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
  - ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。  
(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
  - ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。  
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
  - ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
  - ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を選び燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。
  - ・、酸化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

クレームについては、商品に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後3ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。ただし交換工賃等の一切の費用は対象となりません。正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。

#### リビルドサービス (有料修理)

本製品の構造上、短期間で修理が困難な場合が多い為、修理依頼に関しましては故障品とリビルド品(再生品)とを交換するサービスで対応させていただきます。リビルド代金は修理の度合いに関わらず故障品単価の50%(当社からの返送料、代引き手数料込み、消費税込み)で一定となります。

なお、以下の場合リビルドサービスをお受けできません。

- ・商品の破損が激しく、部品が紛失している、修理不能品の場合。
- ・故意に商品を破壊、又は損傷させた場合、その痕跡がある場合(お客様自らメーターを分解し修理を試みた場合など)。

本製品販売終了後長期間経ちますとサービスを行えない場合があります。ご了承ください。

#### リビルドサービスの手順

1. まず故障内容を当社までご連絡下さい。
2. 故障内容(出来るだけ詳しく書いてください)と、考えられるその原因 使用車種、使用状況 お客様のご住所、連絡先(お電話させていただく場合があります)を記入していただいたメモと一緒に故障品を当社まで送ってください。
3. 弊社までの送料はお客様の方で負担願います。輸送中の破損が起こらないように包装してください。  
当社で故障品を確認し、リビルド品を商品代引きで返送させて頂きます。

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16 株式会社スペシャルパーツ武川  
(TEL)0721-25-1357(代) (FAX)0721-24-5059

当社商品でも取り扱い説明書にリビルドサービスについて記載している商品のみが対象で、記載の無い商品に関しましては行えませんのでご注意ください。

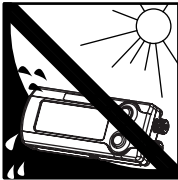
この取り扱い説明書は、本商品を破棄されるまで必ず保管下さいますようお願い致します。



本製品はデジタル回路を使用した精密機械です。誤ったご使用は故障の原因となります。必ず取扱説明書内容すべてをご確認、ご理解の上でご使用ください。

**H.I.D.取り付け  
点火装置改造  
ジェネレーター改造**

**禁止**



社外品のH.I.D.キットはバラスト/インバーター(電圧変換装置)からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る場合がほとんどで、故障の原因となりますので使用しないで下さい。

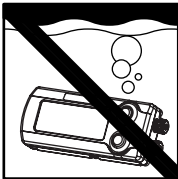
社外品の点火装置(イグニッションコイルやプラグコード)は点火電圧のアップに伴う、悪影響ノイズの増大により故障の原因となりますので使用しないで下さい。

社外品の発電装置は充電力の不足により、バッテリー電圧の低下、制御電圧の不具合により故障の原因となりますので使用しないで下さい。

本製品のボディーは樹脂製です。

風化を防ぐ為に長期、野外にバイクを置く場合はカバー等をかけてください。炎天下の中など、過酷な条件下で長期放置しますと、樹脂やゴム製部品の劣化や変形が考えられます。また、液晶の性質として、長い時間、直射日光を受けると画面表示に支障が出てしまいます。なるべく液晶部分に夏場に長時間、直射日光が当たらないよう気を付けて下さい。万が一、異常が出てしまった場合は、メーター本体を直射日光から避け、冷やしてください。しばらくすると正常に戻りますが、真夏などの強い直射日光下で長時間放置した場合はシミのような後遺症が残るなどの支障が生じる可能性がありますので、特に気を付けてください。

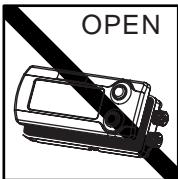
メーター環境温度範囲 EFFECTIVE TEMPERATURE RANGE	-10 ~ +60
---	-----------



本製品は完全防水ではありません。

本体に水が入ってしまった場合は直ちに使用を止め、完全に水分を乾燥させてください。洗車時は注意して下さい。

また、湿度が高い場合、急激な温度変化があった場合などに本体が湿気を吸い込み画面に曇りが発生する事があります。



絶対に分解しないでください。

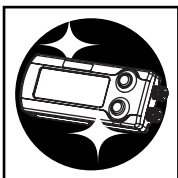
大変危険ですので分解や改造を行わないでください。

また、お客様で分解された場合、商品修理をお受けする事も出来なくなってしまいます。



激しい衝撃を与えないで下さい。

オフロード走行やジャンプなど、メーターに伝わる衝撃がとても強い行為は行わないでください。衝撃によっては内部部品の欠落、ボディーの損傷の恐れがあります。



お手入れについて

頑固な汚れがある場合は水に少量の中性洗剤を溶かし、ゆっくり丁寧に汚れを落としてください。

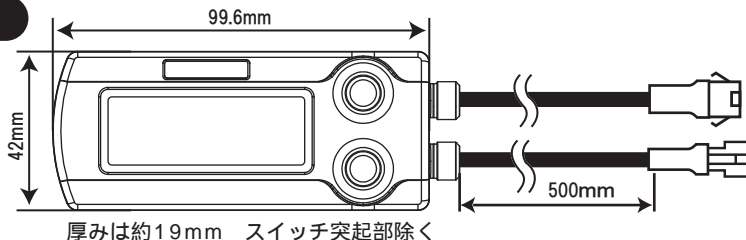
揮発性のあるもの(シンナー・アルコールなど)やコンパウンドで掃除しますと、パネル等が曇ってしまいますのでご注意ください。

## A2-1

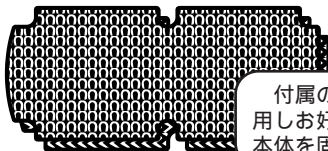
## 商品内容

### メーター本体 METER

縮尺：約50%



### マジックテープ VELCRO SET

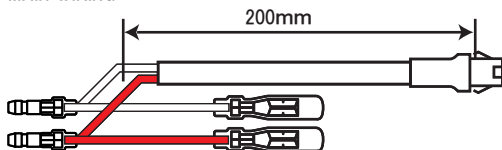


付属のマジックテープを使用しお好みの位置にメーター本体を固定してください。

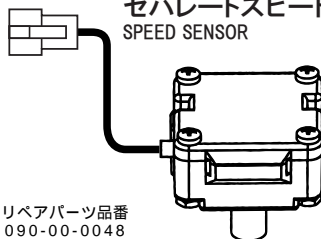
### φ3.5メスギボシセット HOLE CONNECTER



### 電源配線 MAIN WIRING



### セパレートスピードセンサー SPEED SENSOR



リベアパーツ品番  
090-00-0048

## A2-2

## 機能一覧

### SPEED-METER スピードメーター 0～360km (km/h MPH alternative 0～223MPH)

**B2**

トリップメーター TRIP-METER	～999.9km(100m単位) 消去可能
オドメーター ODO-METER	～99999km(1km単位)
最高速度記録 TOP-SPEED	自動で最高速度を記録。消去可能
速度誤差補正 SPEED- ADJUSTMENT	速度表示の[ズレ]を広い範囲で補正することが出来ます。タイヤ種類の変更や、ホイールインチのアップやダウンを行った際にスピードメーター側で補正することが出来ます。 補正範囲：回転ケーブル式仕様(JIS規格を100%)42%～350%

### POWER SYSTEM

タイム測定は前輪の回転速度、回転数からの計算値で行う為、実測記録とは多少異なります。

**B3**

完全自動加速測定	フロントホイールの回転開始に運動し計測スタート。 目標速度(距離)に達すると自動で計測ストップ。
目標速度/中間加速タイム測定 TARGET-SPEED UP TIMING	停車状態又は任意のスタート速度から任意のゴール速度に達するまでのタイムを測定。 スタート速度設定範囲(5km/h単位)：0km/h～355km/h ゴール速度設定範囲(5km/h単位)：30km/h～360km/h レコード数：20本
目標距離到達タイム測定 TARGET-DISTANCE	停車状態から任意の距離に達するまでのタイムを測定。 目標距離設定範囲(50m単位)：50m( 1/32mile)～1000m( 20/32mile) レコード数：20本



センサーの取り付けを考えなくて良い、ケーブル式速度検知方式。

ホイールサイズ、タイヤ種類変更に対応。

多信号/ホイール1回転

### 本製品

#### ノよくある従来型

ケーブル式スピードメーターはJIS規格がある為、ほとんどの国内車両はメーター側の取付け部形状、ケーブル回転数設定が同じです。本製品はケーブル式を採用している為。スピードセンサー等を新たに取付ける必要はありません。また、ホイールサイズやタイヤ種類が変わった場合にも、[50~210%]の範囲で補正することが出来るため、メーターギアBOXを交換する必要はありません。

ノフォーク、ホイール形状がバイクそれぞれで異なるため、スピードセンサーやその対象物の取り付けが難しい。

本製品

1信号/17.9cm

ノよくある従来型

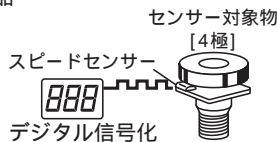
1信号/1400cm?

本製品はケーブル1回転辺り4信号を得る為、50ccスクーターの場合ホイール1回転辺り約7信号となります。従来型でホイールにセンサー対象物を7個も取り付けた時と同じ信号数という事です。ちなみに17インチクラスですと約10信号を得ることが出来ます。

正確に設定をしますと、車両が17.9cm進む毎に1信号が出る計算となります。

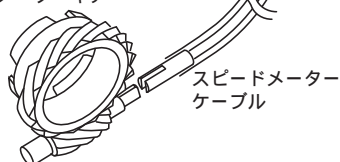
ノセンサー対象物の数が少ないと、誤差が大きくなります。例えば10インチのホイールのバイクにセンサー対象物1つ付けた場合約1400cm進む毎に1信号しか得られません。これでは発進時や速度変化に対する反応が甘くなってしまいます。

本製品

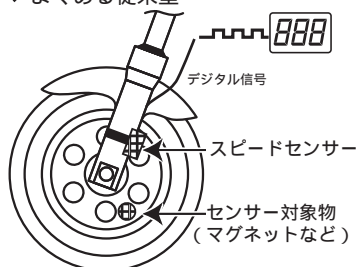


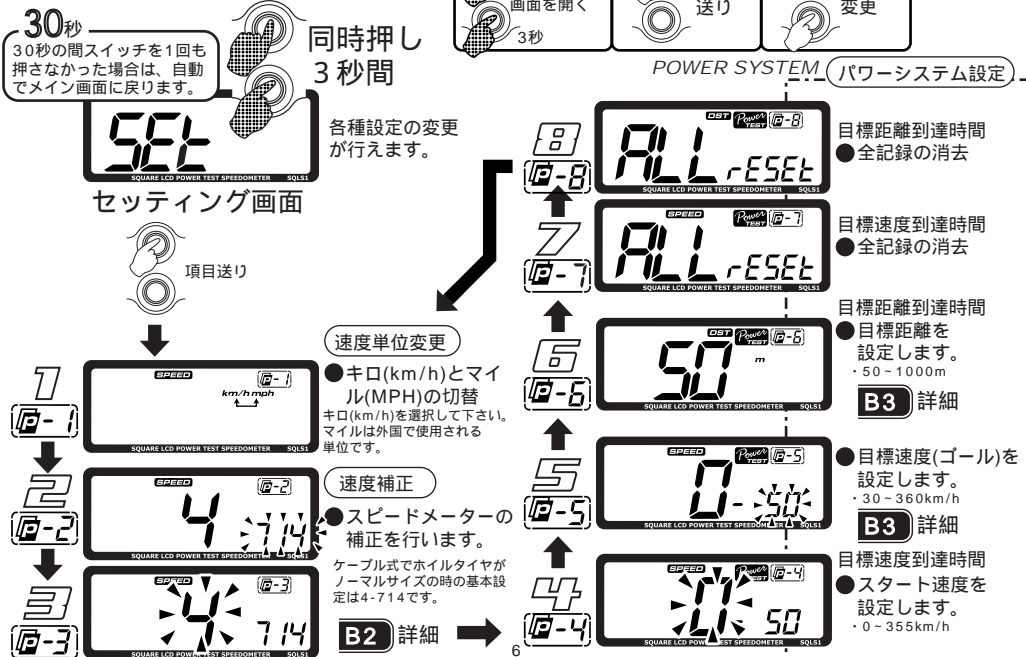
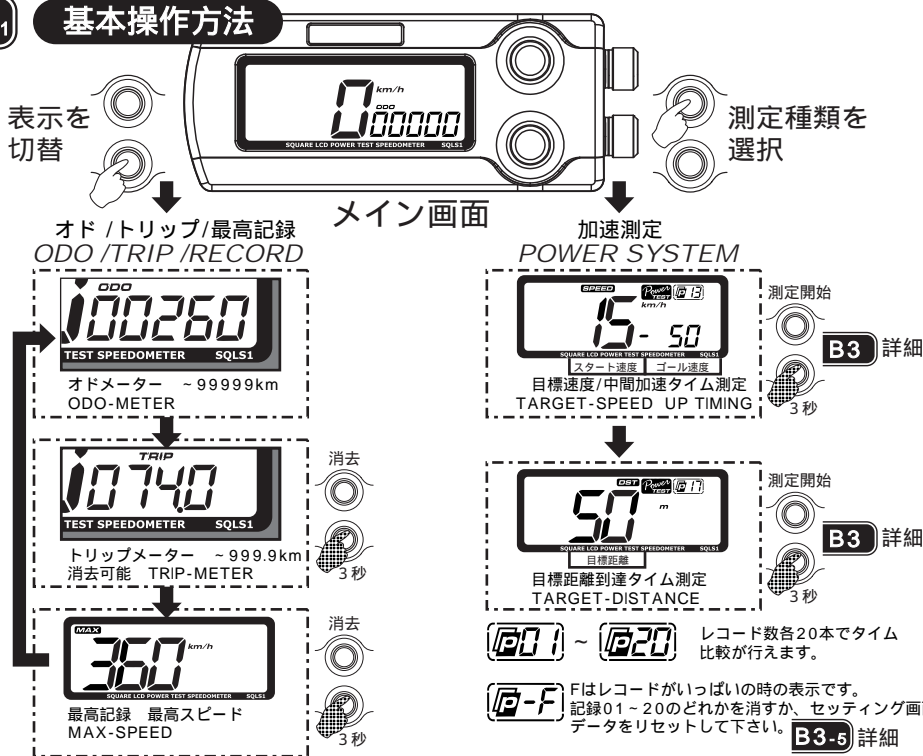
1信号/17.9 cm

ノーマル  
メーターギア



ノよくある従来型





メーターのギボシサイズはホンダ車向けになっております。

(モンキー・ゴリラの場合配線加工無しで使用可)

バイクによって配線を加工する必要があります。

配線はギボシを使い接続する事を推奨します。



# 注意

正しい配線ではキーONだけ(エンジン停止状態)でメーターの電源が入ります。入らない場合は必ず不具合箇所が発見されるまでエンジンを始動しないで下さい。もし、エンジン始動でメーターがONになる状態で使用しますと、メーターが故障してしまいます。

取り付けを再度確認し、不具合の原因箇所を見つけて下さい。・+配線の接続先が間違っている。  
・バッテリーの状態が悪い。・バッテリーレス車では使用出来ません。

## メーター赤コード

### キーON時DC12V電源

黒コードはメーター作動用電源で、キーのON時にDC2Vがかかる配線へ接続して下さい。  
エンジン始動で電圧のかかる配線への接続は間違いですのでご注意ください。

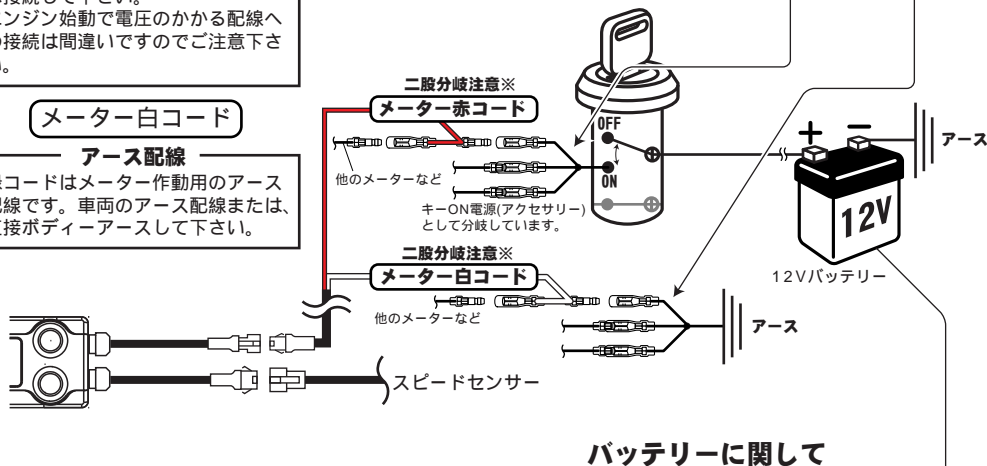
## メーター白コード

### アース配線

緑コードはメーター作動用のアース配線です。車両のアース配線または、直接ボディーアースして下さい。

キーON時DC12V アース色

各メーカーの 代表配線色  車種によって(特に旧車)配線色 の異なる場合があります。	HONDA	黒	赤/黒	緑
	YAMAHA	茶		黒
	SUZUKI	橙		黒/白
	KAWASAKI	茶		黒/黄



## バッテリーに関して

メーター作動電圧範囲は DC 8V ~ 15 V です。  
12V電装車でバッテリーの電圧がとても低く弱っており、エンジン始動後に電源がONになる様な場合は、高回転で逆に過電圧になる可能性があります。故障の原因になりますのでご注意ください。

### "アドバイス"

エンジンを停止状態でブレーキを握り、ブレーキランプを光らせたままさらにウインカーを光らせてみて下さい。この時、ウインカーの点滅速度が異常であればバッテリーの劣化が考えられます。

## 9V電池での作動に関して

本製品は9V電池でも作動出来るように設計されており、ただし、消費電力を抑える為に9V電池使用時はバックライトが点灯しない設計となっております。約10Vを境にLEDのON/OFFが切り替わります。

## 禁止事項

### ・ヘッドライトOFFでの走行の禁止。

ヘッドライト常時点灯車にON/OFFスイッチを取り付け、ライトOFF状態で走行すると、消費されない電力が車両全体の電圧を上げ、バッテリーも過充電になってしまいます。そのまま走行しますと、最終的に過電圧・故障の原因になります。ヘッドライトのバルブが切れてしまった場合は、直ちに走行を止めるが、どうしても走行する必要がある場合はハイビームに切り替えて(光軸も調整)ください。

この時、可能な限り低回転で走行して下さい。

## 二股分岐注意※

2) 二股分岐部の配線に流せる電流量は5Aまでです。キーON後に使用する電装の合計W数が60Wを超える場合は二股分岐部を切り落とし直接車両ハーネスに接続して下さい。

エイブ50/100、XR50/100モーターは別売のバッテリー-KIT取り付けで作動できます。  
品番09-00-0022、¥7600(税別)

## B2-1

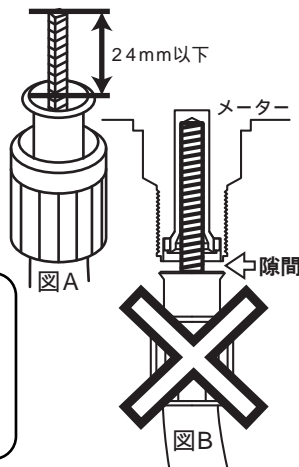
### 速度センサーの取り付け

#### ケーブル形状を確認してください。

本製品はJIS規格に基いたケーブル差込部形状を採用しておりますが、輸入車及び一部国産車ではケーブル加工が必要な場合があります。

ケーブルアウターからのケーブルの飛び出し量を測って下さい(図A)。24mmを超える場合はその部分をカットして下さい。図Bのように底つきし、上に押し上げた状態で使用されますと回転部が激しく磨耗してしまい、正確な速度を認識できなくなってしまうです。

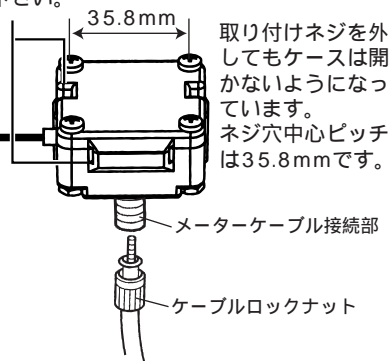
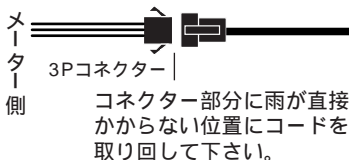
本製品はケーブル接続部のみを本体とは別体とする事でスピードメーターケーブルの長さや取り回しの制限に対して、有利な仕様となっています。コードの届く範囲では自由な位置にメーター本体及びセパレートユニットを取り付け出来ます。固定はフロントフォーク、ステアリングを作動範囲を確認しながらケーブルやコードが無理な取り回しにならないよう工夫して行って下さい。



### スピードメーターケーブルの接続

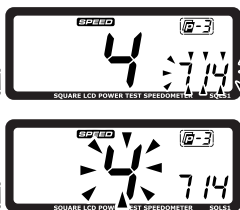
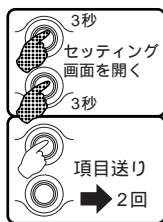
ケーブルがメーターケーブル接続部の奥まで差し込めた事を確認してから、ケーブルロックナットを締めてください。走行中にケーブルの接続が外れないようブライヤーなどを使いしっかりと取り付けてください。取り付け後も緩みが無いか定期的に点検してください。

インシュロック通しセパレートユニットの固定にご使用下さい。



## B2-2

### 速度補正值の設定

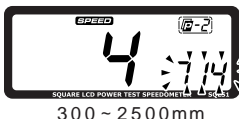


#### 速度補正

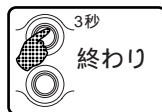
スピードメーターの補正を行います。

ケーブル式でホイールタイヤがノーマルサイズの時の基本設定は4-714です。

#### 進行距離の設定



#### 信号数の設定



例)進行距離を714mmに設定、信号数を4に設定。

補正値を調べる方法は **B2-3**

車種、ホイールサイズに関わらずフロント周りがノーマルであれば、基本設定は714mmの4信号です。

## 標準補正值は 714mm-4信号

車種に関わらず、ノーマルのホイール、タイヤ、メーターギアBOXを使用している場合、標準補正值は714mm-4信号です( )。

また、他車種のホイール流用などの場合でも、そのホイール用のメーターギアBOXをセットで使用すれば、同様に標準補正值は714mm-4です

速度表示、加速測定をより正確にしたい場合は補正してください。

ホイール、タイヤ等がノーマルでも、タイヤの空気圧やメーターギアの都合上、多少ズレがあります。その小さなズレを補正することでより正確な測定が出来ます。

## 補正值調査の必要あり

メーターギアBOXはノーマルを使用しながら、タイヤ周長がノーマルから変化した場合。

例) 社外品のインチアップホイールに交換した場合。  
タイヤサイズを変更した場合。

## ややこしくてすみません。

補正值を割り出す為に少し面倒な計算する必要があります。

## 調べ方2 は次ページ

## 調べ方1

国内規格[速度60km/hの時、ケーブル回転数は毎分1400回転]から計算すると、ケーブル1回転あたりに車両の進む距離は71.4cmと決まっています。

## メーターギアと現在装着している改造後タイヤ周長から割り出す方法

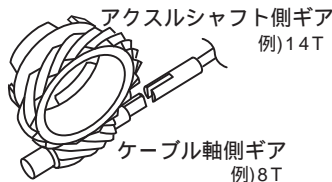
## 1.メーターギアを分解してギヤ山数を数えます。

例) ホンダtoday(10インチホイール)  
アクスルシャフト側 14T  
ケーブル軸側 8T



分解時に破損の恐れがあります。  
十分に気を付けて作業を行ってください。

(メーターギアBOX内部)



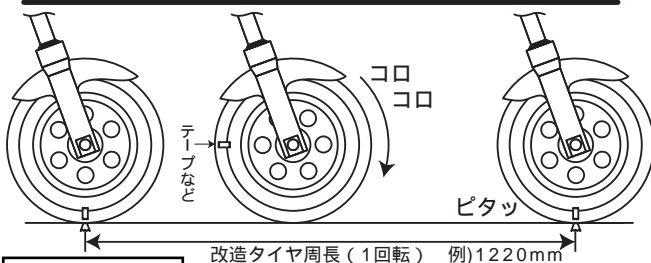
数値A

ケーブル軸側

数値B

アクスルシャフト側

## 2.テープなどでタイヤと地面に印を付け、改造タイヤを1回転させてその距離を測ります。



数値C

タイヤ周長(mm)  
例)1220mm

数値A

例)8T

数値B

例)14T

数値C

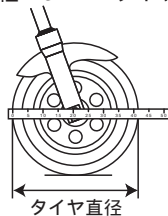
例)1220mm

答え

進行距離(mm)

例) 697mm

タイヤ直径×3.14 = タイヤ周長



例) 実測タイヤ直径39cm  
39cm × 3.14 122cm

ギアボックス種類	モンキー	武川
ケーブル軸側	8T	9T
アクスルシャフト側	13T	17T

太枠内の数値が"進行距離設定値"となります。

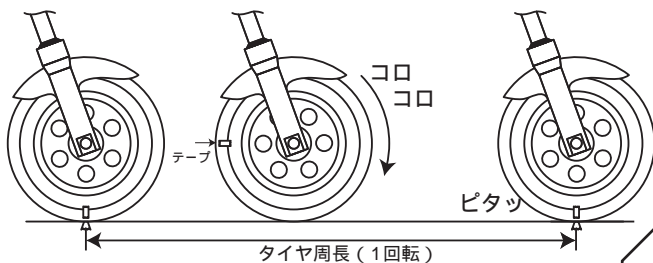
信号数は4を入力して下さい

例) 4 697

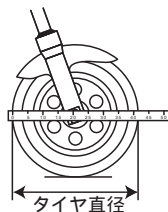
## 調べ方2

## ノーマルタイヤと変更後のタイヤを比較する方法

テープなどでタイヤと地面に印を付け、タイヤを1回転させてその距離を測ります。



タイヤ直径からでも割り出せます。



改造後直径 ÷ ノーマル直径 × 714 = 補正值

数値A

数値B

÷

× 714 =

答え

進行距離(mm)

例) 697mm

例)

4

697

太枠内の数値が"進行距離設定値"となります。  
信号数は4を入力して下さい

信号数は4で  
固定です。

調べ方1 は前ページ

# POWER SYSTEM

## 加速測定



### 警告

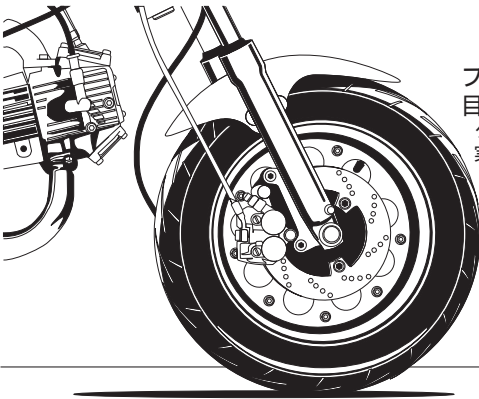
この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。

加速測定は十分に安全を確保できる見渡しの良い場所で行なってください(貸切サーキット等)。

加速測定時は車両にとって、とても過酷な使用状態となります。その為、測定中に車両破損の可能性が非常に高くなります。走行前に車体の各部を良く点検してください。小さなトラブルでも、原因が分かりその問題が解決するまで絶対に測定を行わないでください。また、走行中にトラブルを感じた場合すぐに安全な場所に停止し、車両を点検してください。

本製品使用中に発生した事故、怪我、物品の破損等に関して如何なる場合においても当社は一切の責任を負いません。

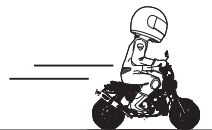


### 自動測定

フロントホイールの回転開始に連動し計測スタート。

目標速度(距離)に達すると自動で計測ストップ。

タイム測定は前輪の回転速度、回転数からの計算値で行う為、実測記録とは多少異なります。



### 加速測定の種類

加速測定は2種類あります。

TARGET-SPEED 目標速度到達時間測定	停車状態又は任意の速度から任意の速度に達するまでのタイムを測定。 スタート速度設定範囲(5km/h単位): 0km/h ~ 355km/h 目標速度(ゴール)設定範囲(5km/h単位): 30km/h ~ 360km/h
TARGET-DISTANCE 目標距離到達時間測定	停車状態から任意の距離に達するまでのタイムを測定。 目標距離設定範囲(1/32マイル単位): 1/32 ( 50m) ~ 20/32 ( 1000m)

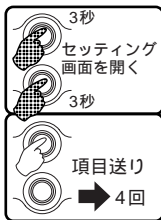
測定したい内容を決め、次項の目標の設定を行って下さい。



# B3-2

## 目標の設定

### TARGET-SPEED 目標速度到達時間測定



目標速度到達時間

- スタート速度を設定します。  
・ 0 ~ 355 km/h



- 目標速度(ゴール)を設定します。  
・ 30 ~ 360 km/h

#### スタート速度の設定

#### SPEED

#### 目標(ゴール)速度の設定



0 ~ 355 km/h  
(5 km/h 単位)



変更



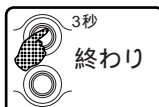
項目送り



30 ~ 360 km/h  
(5 km/h 単位)



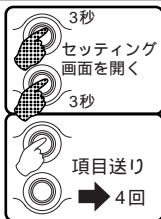
変更



例) スタート速度を 0 km/h に設定。  
目標(ゴール)速度を 50 km/h に設定。

スタート速度とはタイム計測を開始する速度です。  
0 km/h にすると、走行開始と共に計測スタートします。

### TARGET-DISTANCE 目標距離到達時間測定



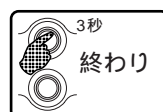
目標距離到達時間

- 目標距離を設定します。  
・ 50 ~ 1000 m



#### 目標距離の設定

#### DIST



例) 目標距離を 500 m に設定。

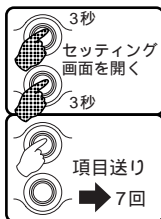
50 ~ 1000 m  
(50 m 単位)

変更



# B3-3

## 全記録の消去



- 目標速度到達時間
- 全記録の消去

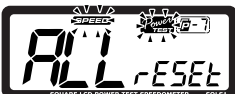
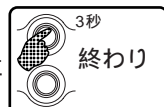


- 目標距離到達時間
- 全記録の消去

全点滅



消去中止



消したい測定種類を選んでください。



消去

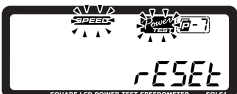


消去の再確認。

12



消去実行



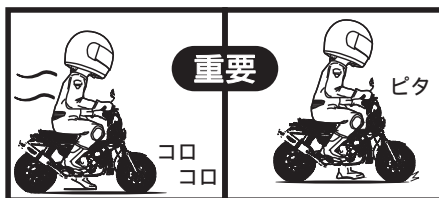
消去終了。

# B3-4

## 加速測定の手順

走行場所、周囲の安全を良く確認し、スタート地点に移動して下さい。スタート時の誤差を少なくする為に測定は必ず前進状態から停止し、行ってください。

スピードメーターギア、ケーブル等には少しずつ遊びの部分(ガタ)がある為です。後進後に停止した場合、次に前進した時すぐにメーターが速度を検知できず、それが測定結果に影響してしまいます。



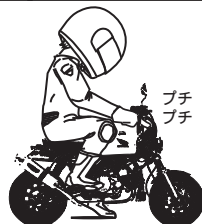
メイン画面

種類を選択

チェック 例)残り20個



チェック 例)残り1個



前タイヤが動かないように注意して下さい。

**SPEED**  
TARGET-SPEED  
目標速度到達時間測定

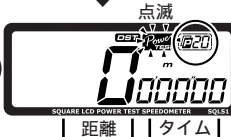
**DST**  
TARGET-DISTANCE  
目標距離到達時間測定

空いている一番小さい番号に記録します。

測定する



スタート待ち



測定開始

前輪の回転開始に連動し、測定をスタートします。目標の速度、または距離に達した時点で時計は自動でストップします。

記録の確認は安全な場所に停止し、行ってください。

本製品はフロントホイールの回転から計算している為、正確に測定するには必ずフロントアップしないよう走行してください。



測定終了

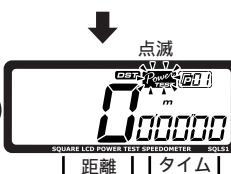


再計測

再測定する



スタート待ち



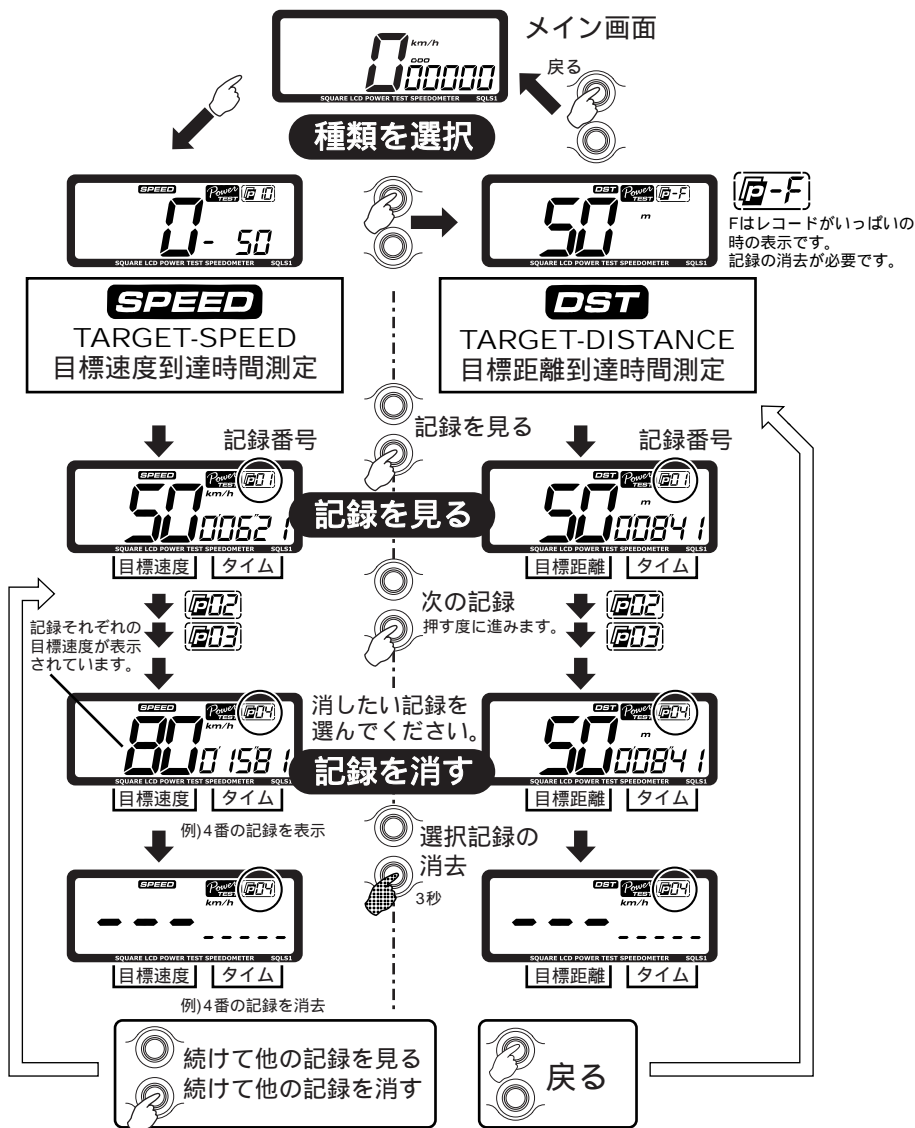
**STOP**  
途中ストップ

途中で計測を止める場合。間違って測定がスタートしてしまった場合。(ケーブルの回転に連動するため、わずかな車両の揺れで測定が開始されてしまう場合があります。)もう一度、下ボタンを押すと、途中止めた記録が消去され、再測定します。



Fはレコードがいっぱいの時の表示です。記録の消去が必要です。 **B3-5** 詳細

**CLOSE**  
測定を終了する



全記録の消去 は B3-3



まえがき	ご使用にあたっての注意点	A 1
内容一覧	商品内容	A 2 - 1
	機能一覧	A 2 - 2
速度検知方式		A 3
基本操作方法	標準画面の表示内容、スイッチ操作等	A 4 - 1
セッティング画面		A 4 - 2

電源の接続		B 1
スピードメーター	速度センサーの取り付け	B 2 - 1
	速度補正值の設定	B 2 - 2
	速度補正值の調べ方	B 2 - 3
パワーシステム	加速測定について	B 3 - 1
	目標の設定	B 3 - 2
	全記録の消去	B 3 - 3
	加速測定の手順	B 3 - 4
	記録の確認と消去	B 3 - 5

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東3-5-16

TEL(0721)25-1357 (代)

FAX(0721)24-5059

株式会社

**SPECIAL PARTS**

武川

<http://www.takegawa.co.jp>